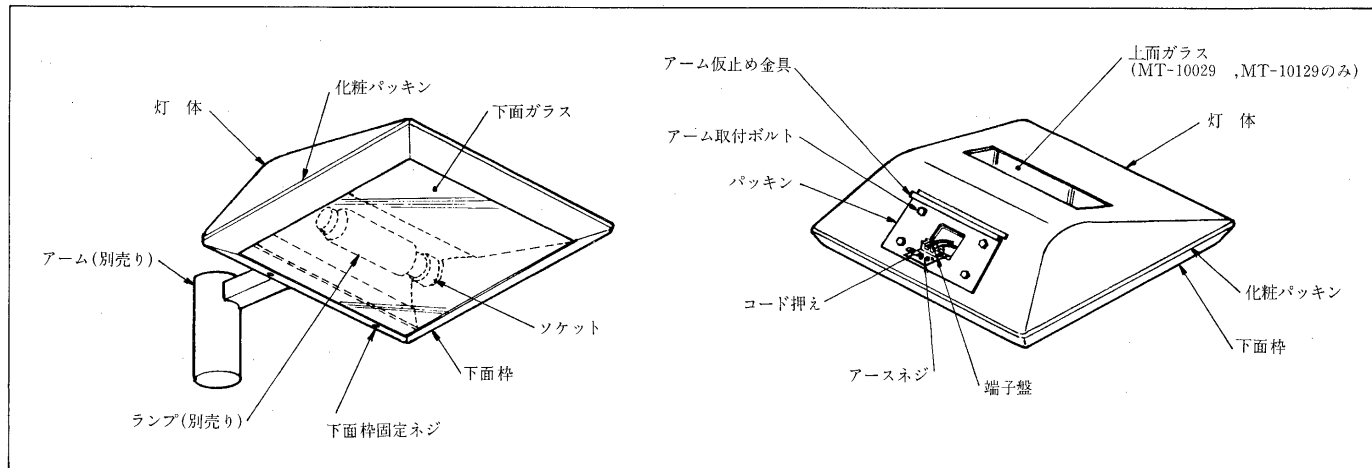


対象器種 MT-10028, MT-10128, MT-10029, MT-10129

適合ランプ 東芝ネオハライドランプ MT1000B-J-BH

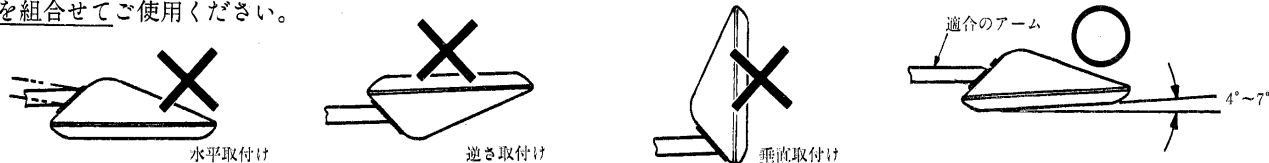
このたびは東芝テニスコート器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■各部のなまえ

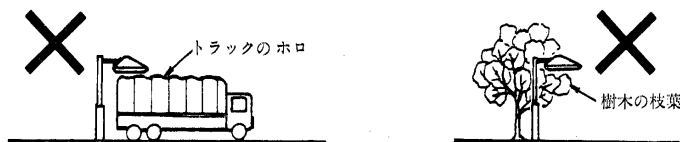


■特にご注意を

- 必ず適合ランプ(別売り)をご使用ください。適合ランプ以外のランプをご使用になりますと、ランプの破損・器具の変形及び破損等の原因となります。
- ポール・アームは別売りとなっております。
安定器は適合ランプに適合する安定器で地域の電圧・周波数に合った安定器を別にお買い求めの上ご使用ください。
- 次の場所ではご使用にならないでください。器具の故障や破損の原因になる場合があります。
 - 特に強い振動のある場所には使用しないでください。ランプが破損するおそれがあります。
 - 特に湿気の多い場所(屋内プール照明等)には使用しないでください。漏電するおそれがあります。
 - ガソリンスタンド等の蒸気危険場所には使用しないでください。
- 器具に雪が積った状態で放置しないでください。新雪状態での1m以上もしくは1m以下でも氷結などによる同等分の積雪は必ず排除してください。器具・アームが破損・変形のおそれがあります。
- 本器具は適合のポール・アーム(各別売り)と組合せての使用にて所定の性能・品質が得られるように設計されております。例えばアームを改造して器具の取付角度を変更した場合は器具への浸水の原因にもなります。必ず適合のアーム・ポールを組合せてご使用ください。



- 器具前面ガラスより1m以内に可燃物を置かないでください。
駐車場や広場などで使用され照射位置に可燃物がある場合焼損の可能性あります。(下図例参照)



- 必ずアースを取り付けてください。アースは法により第3種接地工事が必要です。(アースネジは端子台の横にあります。)
- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。性能が十分に発揮できないばかりか大変危険です。
- 器具のお手入れは必ず電源を切ってから行なってください。感電のおそれがあります。
- 点灯中もしくは消灯直後の器具・ランプは大変高温となっています。ランプ交換や器具の清掃は消灯後充分にランプや器具が冷えた状態で行ってください。
- この器具は周囲温度5℃～35℃の範囲で使用するよう設計してあります。取り付けの際はご注意ください。

お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
一般の方の工事は法で禁じられております。

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

■器具の取り付けかた

- 1 アーム取付ボルト(4本)を器具より外してください。
- 2 端子盤に電源線(アース線はアースネジ部へ)を結線してください。(図2)
- コード押え固定ネジをゆるめてコード押えを片側へ回した状態で作業ください。
- 結線作業後コード押えにて電源線を固定してください。
- 3 器具をアーム(別売り)に取り付けてください。(図3)
- 器具に付いているアーム仮止め金具にアーム取付金具を引かけると器具がアームに仮止めされた状態になります。但し仮止め状態を長時間続けたり作業者がそばを離れることは万一の事故を予防するために避けてください。
- 4 器具とアーム(別売り)をアーム取付ボルト(4本)にて取り付け固定してください。
- アーム取付ボルト(4本)の締め付けは十分に行ってください。
- 5 下面枠固定ネジ(2カ所)をゆるめて下面枠を静かに開けてください。(図4)
- 6 ランプ(別売り)をソケットに組み付けてください。
- ランプは確実にねじ込んでください。ねじ込みが不十分ですと不点灯の原因となります。
- 7 下面枠を閉めて下面枠固定ネジ(2カ所)を締めてください。(図4と逆の手順で組み付けてください。)

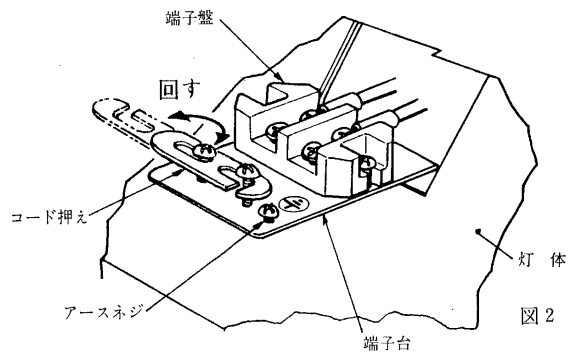


図2

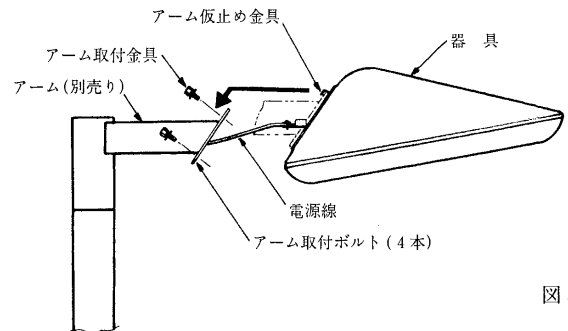


図3

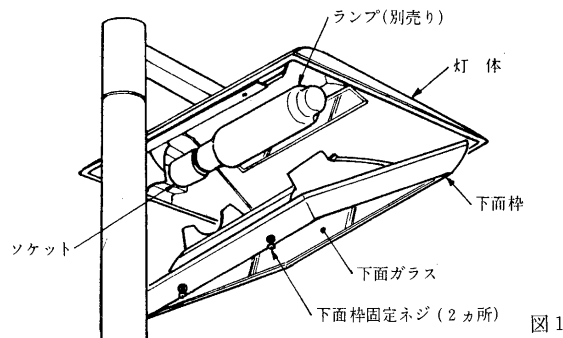


図1

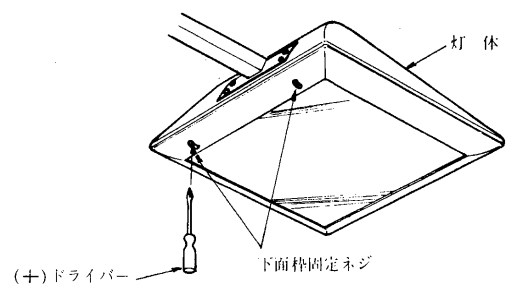


図4

保守、点検の際は下面枠を静かに開けて灯体内面側より端子台固定ネジ(2カ所)をゆるめて端子台を外して端子盤部分の確認ができます。(図5)

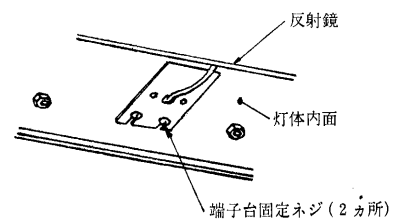


図5

■お手入れのしかた

- ① 器具のお手入れは必ず電源を切ってから行なってください。
- ② 反射鏡に汚れがつかますと反射効率が低下いたします。汚れは柔らかい布でふきとってください。
- ③ ガラスはぬるま湯または石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- ④ 本体のサビやキズの補修は同色のラッカー自然乾燥塗料で補修してください。
- ⑤ ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。
- ⑥ たわしなどで直接器具をみがかないでください。傷がつくおそれがあります。
- ⑦ ホースなどを用いて下側から直接水を吹きかけて器具を水洗いすることは避けてください。器具への浸水の原因となります。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店(工事店)またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。

なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。